

令和4年 **4**月の**思いやり**通信



建材、供給網の排出量把握

- * 建設大手が供給網全体で二酸化炭素（CO₂）排出量の把握を進めます。
- * 鹿島はブロックチェーン（分散型台帳）でコンクリートの製造や運搬時のCO₂排出量を算出するシステムを導入。
- * 建設業界で材料や施工で出るCO₂排出量に注目が集まるのは、「スコープ3」と呼ばれる供給網や施工後の段階でのCO₂削減が急務となっているため。
- * 「スコープ1」：施工やオフィス活動で直接排出されるCO₂排出量。
- * 「スコープ2」：電力などのエネルギーの調達先で排出されるCO₂排出量。
- * 「スコープ3」の排出量はスコープ1と2の合計の10倍以上。
- * 環境負荷の少ない材料や施工を導入することが、業者の選定基準となっていく可能性も。

（2022年3月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

